

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
名称	にしめ物産 株式会社			電話番号	0184-33-4260				
所在地	秋田県由利本荘市西目町沼田字新道下1112番地2			FAX番号	0184-33-4266				
設立年月日	平成7年4月14日			HPアドレス	http://eki.nisime.net/				
2 資本金	30,000千円	市出資金	10,000千円	市出資割合	33.3 %				
3 事業内容	1. 道の駅「にしめ」関連施設の管理運営(「ふるさと資源活用センター」(売店、レストラン)等) 2. 道の駅「にしめ」に係る受託事業(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関する一切の事業								
4 財務状況(平成30年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	62,713	59,626	59,556		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	81,762	81,718	89,842
	負債	2,805	2,955	8,836		(内市からの補助金・指定管理料)	953	2,786	2,786
	(有利子負債)	0	0	6,594		経常利益	△ 1,964	△ 3,053	△ 5,767
	純資産	59,908	56,671	50,720		当期純利益	△ 2,148	△ 3,237	△ 5,951
	利益剰余金	29,908	26,671	20,720		減価償却前当期利益	△ 1,732	△ 2,776	△ 5,285
5 役職員の状況(平成30年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)		5 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		4 (退 0)			
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成30年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)					
①補助金(助成金)	0	0	0						
②利子補給	0	0	0						
③税の減免額	0	0	0						
④その他	0	0	0						
小 計	0	0	0						
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0						
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用	0	0	0						
小 計	0	0	0						
合 計	0	0	0						
【参考】指定管理料(税込)									
	1,029	3,009	3,009	道の駅周辺施設					
(2) その他(平成30年3月31日現在)									
項 目	前々年度	前年度	本年度						
①損失保証契約に係る債務残高	0	0	0						
②貸付金残高	0	0	0						
③出資金(増資等)	0	0	0						
合 計	0	0	0						
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第23期決算報告書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 3 期)

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

にしめ物産 株式会社

由利本荘市西目町沼田字新道下 1 1 1 2 番地 2

電話 0 1 8 4 - 3 3 - 4 2 6 0

平成 29 年度第 23 期にしめ物産決算概要書

2017 年 1 月発刊の内閣府「日本経済 2017-2018」によりますと、日本経済の現状は 2012 年 11 月を底に緩やかな回復傾向の中、輸出や生産は持ち直しが続き、企業収益は過去最高となり、雇用、所得環境も改善している。また、個人消費や民間企業設備投資など国内需要も持ち直しており、好循環が進展している一方で景気回復の長期化により、労働市場では人手不足感が高まっている。経済全体の需給を表す GDP ギャップもプラスに転じているが他方こうした経済全体の引き締まりにもかかわらず、賃金の伸びは緩やかなものにとどまっており、物価の動向についても、デフレではない状況にはなっているものの、消費者物価の基調は横ばいとなっており、デフレからの脱却に向けまだ課題が残されている状況にある。

秋田県内の最近の経済は、個人消費は新車の登録台数が前年を上回ったものの依然力強さを欠くなど全体としては足踏み感が強く、足元の住宅投資、公共投資は引き続き減少傾向で推移している。この間、生産活動は機械金属や、電子部品などの堅調を受けて全体としては持ち直し基調を続けており、雇用情勢は人手不足の深刻化はあるものの、改善の動きが続くなど依然重い足取りながら、持ち直しの動きが続いている。

このような情勢の中、当、道の駅の利用客は対前年比で 6,800 人の増の 268,000 人となっており、これは、ねんりんピック秋田県大会の剣道、並びにのソフトボールの競技が由利本荘市の会場であったこと、そして 10 月下旬から 11 月上旬に本市で開催された種苗交換会等が大きな要因とみることができると思われます。

一方、収支決算においては、売上高は物産品と直場所の収益を合わせ 72,983 千円の計上となっており、対前年比では 10,718 千円と好調であったが、印紙、切手類、たばこ等の売り上げマイナス分を合わせ、トータルでは 7,989 千円の売上増となっています。これらに伴う売上原価は 51,852 千円となり、内訳の主なものは物産品と直売所の仕入が主なものであり、印紙、切手、たばこの減額分とあわせ、対前年比で 4,892 千円の増額となっております。売上高から売上原価を差し引いた売上総利益は 21,131 千円で売上高に対する利益率は 29%となっており対前年比では 1.2%3,097 千円の増額となりますが、これに一般管理費 38,995 千円とテナント料が主な収入源であります営業外収益とを計上いたしますとトータルでは 5,951 千円のかつてない大きなマイナス損益の計上となってしまったところであり、赤字脱却の目標を掲げながら実現できなかったことに大変申し訳なく思っております。この損益の一番大きな要因は一般管理費の人件費の増額であり、これは長年勤務されてきました女性社員 2 名の退職金の支払いにかかわるものと、直売所の運営にかかわる細やかな設備費の積み重ねが大きなものであり、これら 2 項目の支出については来期は、ほぼなくなるものとの見通しをたてているところであり、これまでの直売所の売上高も対前年比で 160%強の伸びをみせており、飲食部門につきましても 178%の伸びをみせていることから、来期はより一層の経費節減につとめ、マイナス損益からプラス損益に転じる目標を第一に、使命感を持って実現できるよう奮闘してまいりたいと考えておりますので、役員の皆様、株主の皆様にはより一層のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

貸借対照表

にしめ物産 株式会社

平成30年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 49,007,081】	【流 動 負 債】	【 2,242,136】
現 金	1,400,000	買 掛 金	1,379,083
預 金	42,127,380	未 払 費 用	535,763
売 掛 金	218,032	未 払 税 金	184,000
商 品	5,161,669	預 り 金	143,290
未 収 入 金	100,000	【固 定 負 債】	【 6,594,000】
【固 定 資 産】	【 10,548,735】	長 期 借 入 金	6,594,000
(有 形 固 定 資 産)	(9,344,373)	負 債 合 計	8,836,136
建 物 付 属 設 備	8,364,863	純 資 産 の 部	
設 備 造 作	62,867		
構 築 物	589,479	【株 主 資 本】	【 50,719,680】
工 具 器 具 備 品	206,204	資 本 金	30,000,000
一 括 償 却 資 産	120,960	(利 益 剰 余 金)	(20,719,680)
(無 形 固 定 資 産)	(179,768)	利 益 準 備 金	840,000
電 話 加 入 権	179,768	そ の 他 利 益 剰 余 金	19,879,680
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(1,024,594)	別 途 積 立 金	5,000,000
出 資 金	32,265	繰 越 利 益 剰 余 金	14,879,680
保 険 積 立 金	992,329	純 資 産 合 計	50,719,680
資 産 合 計	59,555,816	負 債 ・ 純 資 産 合 計	59,555,816

損益計算書

にしめ物産 株式会社

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	51,774,934	
売上高（直売所）	11,002,685	
印紙、切手売上高	7,268,195	
たばこ売上高	2,850,105	
はいから売上高	86,807	72,982,726
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	5,088,755	
仕 入 高	37,295,853	
仕入高（直売所）	4,570,633	
印紙、切手仕入高	7,726,686	
たばこ仕入高	2,332,280	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	57,014,207	
期末棚卸高	△5,161,669	51,852,538
売上総利益金額		21,130,188
【販売費及び一般管理費】		38,995,007
営業損失金額		△17,864,819
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	4,009	
受 取 家 賃	6,600,000	
委 託 料 収 入	7,189,853	
雑 収 入	3,065,816	16,859,678
【営 業 外 費 用】		
支払利息割引料	76,572	
委 託 人 件 費	3,859,860	
イ ベ ン ト 費	789,020	
雑 損 失	36,673	4,762,125
経 常 損 失 金 額		△5,767,266
税引前当期純損失金額		△5,767,266
法人税、住民税及び事業税		184,000
当 期 純 損 失 金 額		△5,951,266

平成30年度 事業計画

にしめ物産株式会社

1 イベント事業

(1) 自主イベント（道の駅イベント実行委員会）

イベント名	開催日（期間）	開催場所
岩手県大槌町の三陸フェア	6月24日（日）	道の駅イベント広場
七夕まつり	7月1日（日）	道の駅イベント広場
道の駅にしめ「盆踊り」	8月14日（火）	道の駅イベント広場
道の駅にしめ「秋まつり」	9月23日（日）	道の駅イベント広場
ハタハタまつり	12月9日（日） ～12月16日（日）	道の駅イベント広場
道の駅にしめ冬まつり	1月27日（日）	道の駅イベント広場

(2) 共催イベント（由利本荘市観光協会西目支部、三水会、マラソン実行委員会等）

イベント名	開催時期	開催場所
桜・菜の花まつり	4月12日（木） ～5月6日（日）	ハーブ通り桜並木 菜の花畑 イベント 広場
ひまわりまつり	7月下旬～8月中旬	ひまわり畑 イベント広場
第34回 西目健康マラソン	9月9日（日）	道の駅周辺コース イベント広場
収穫感謝イベントはまなすフェア	10月28日（日）	イベント広場
第44回本荘愛鯉会錦鯉品評会	10月28日（日）	イベント広場
ゆりほんじょう道の駅の日	毎月第4日曜日	イベント広場
各種写真展等の開催	毎月	2階ギャラリー

※四季折々の各種イベントを開催し、誘客と売上増進を図る。

2 販売促進策

- (1) 物産館売店に由利本荘市の特産品を一堂に集め地元産品の販売を強化する。
また季節商品に応じた売れ筋の販売の強化と品揃えを充実させる
- (2) 直売所を改修工事により増築し、地元農漁家の生産品等の品揃えを豊富にして地域住民の生産も直売所の売上も増えるように強化していく
- (3) 中元・歳暮のDM発送（株主、各職場）
- (4) 各種イベント等への出店販売、西目パーキングを活用しての特産品等PR販売活動の開催
- (5) 印紙・切手・ハガキの販売拡充（金融機関、支所、各種団体）
- (6) イベント広場を活用した賑わいによる集客
- (7) 2階ギャラリーを活用した賑わいによる集客
- (8) 毎月第4日曜日のゆりほんじょう「道の駅の日」開催での賑わいによる集客
- (9) テナント及び「道の駅」周辺施設との連携強化による集客
- (10) 瓦焼き事業を中心とした露店営業（地元食材とのタイアップ）
- (11) リニューアルした、直売所の売上を伸ばして行く為に由利本荘市の生産者をもっともっと増やす

※以上の項目を中心にして、売上増進を図っていく。

平成30年度 予算書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

にしめ物産株式会社

(単位:千円)

勘 定 科 目	平成30年度
売 上 高	87,000
(うち物産品等)	46,000
(うち直売所)	30,000
(うち印紙、切手類)	7,000
(うちタバコ)	2,000
(うち露店販売)	2,000
売 上 原 価	63,700
期 首 棚 卸 高	5,200
仕 入 高	63,700
(うち物産品等)	31,000
(うち直売所)	24,000
(うち印紙、切手類)	6,900
(うちタバコ)	1,800
期 末 棚 卸 高	5,200
売 上 総 利 益	23,300
(売上総利益率)	26.8
一 般 販 管 費	34,700
営 業 損 失	-11,400
営 業 外 収 益	16,705
受 取 利 息	5
受 取 家 賃	6,600
委 託 料 収 入	7,100
雑 収 入	3,000
営 業 外 費 用	4,840
支 払 利 息 割 引 料	0
委 託 人 件 費	3,800
イ ベ ン ト 費	1,000
雑 損 失	40
経 常 利 益	465
税 引 前 当 期 利 益	465
法 人 税 等	300
当 期 純 利 益	165

一般販管費内訳

(単位:千円)

勘 定 科 目	平成30年度
給 料 手 当	17,000
雑 給	1,000
退 職 金	0
法 定 福 利 費	1,900
福 利 厚 生 費	750
衛 生 費	700
旅 費 交 通 費	350
通 信 費	750
交 際 費	120
減 価 償 却 費	450
保 守 点 検 料	500
損 害 保 険 料	150
修 繕 費	200
水 道 光 熱 費	3,800
少 額 減 価 償 却 資 産 費	200
消 耗 品	500
租 税 公 課	1,600
荷 造 発 送 費	500
包 装 材 料 費	300
事 務 用 品 費	300
広 告 宣 伝 費	300
支 払 手 数 料	300
諸 会 費	200
新 聞 図 書 費	40
運 営 料	0
車 輜 費	200
リ ー ス 料	1,800
会 議 費	10
警 備 料	300
寄 付 金	20
雑 費	460
合 計	34,700